

Odds Park Club

高知競馬特集

vol.72

2024.1~3

ジョッキーインタビュー
林謙佑 騎手



Graded Dirt Races

- 1/17 ブルーバードカップ JpnⅢ (船橋)
- 2/7 クイーン賞 JpnⅢ (船橋)
- 2/12 佐賀記念 JpnⅢ (佐賀)
- 2/29 かきつばた記念 JpnⅢ (名古屋)
- 3/6 ダイオライト記念 JpnⅡ (船橋)
- 3/26 黒船賞 JpnⅢ (高知)

私的な名馬録

12歳引退レースも圧勝 エプソムアールン

エプソムアールンは9歳時に大井から移籍し、2013年4月の高知初出走から16年11月まで県内外で41戦22勝。重賞を9勝もした名馬中の名馬だった。同馬には何度も驚かされたが、最初の衝撃は転入2戦目に勝った福永洋一記念。現在は下級クラスから重賞に挑戦する場合はその前にオープンに格上挑戦し勝利する必要があるが、当時は直行が許された時代。転入初戦のC3クラスを大差勝ちしたあと、当時、重賞2連勝中だったマチカネニホンバレを一蹴。エプソムアールン時代の到来である。

その後は園田FCスプリント、トレノ賞を制し、兵庫ゴールドトロフィーJpnⅢではドリームバレンチノの2着。年明けの大高坂賞で黒船賞JpnⅢの出走権を手にする、続くオッズパークグランプリでは笠松1400mのコースレコードで勝利するなど驚きの強さで勝ちまくる時期が続いた。

そんな中で迎えた3月の黒船賞JpnⅢ。思い出深いのが予想紙作成時にかかってきたエプソムアールンを管理していた雑賀正光調教師からの一本の電話だ。「エプソムアールン、どんな印になった?」。「JRAの

馬がいる分、4、5番手くらいですけど、それ以上の結果を期待していますので」というやり取りがあった。後にも先にもそういった例はなく、雑賀調教師の期待のほどが窺いしれた。結果的には3番人気で8着に終わったが、当時を振り返ると今でもレース前のドキドキが蘇ってくる。

黒船賞JpnⅢこそ大きく負けてしまったものの、その後もエプソムアールンは勝ちまくった。途中、1年以上の休養もあったが、15年には2400mで争われる大晦日の大一番、高知県知事賞にも挑戦。当日はやたらと外伸びが決まる馬場状態で、序盤からかなりの距離を引っ掛かり気味に逃げたエプソムアールンはさすがに厳しく6着に終わったが、2番人気に支持されたのはファンがこの馬の地力に期待していた証だろう。

12歳となった16年は重賞未勝利だったものの、個人的にはこの年が最もエプソムアールンの真の強さを実感した年かもしれない。A-2組やA-1特別戦でのものではあったが、何と3走連続でマイルの自己タイムを更新。そしてエプソムアールン、ラストランと銘打たれた引退レース、11月13日のA-2組(1600m)でも圧勝を飾った。ちなみに当日の予想紙には「今回が引退レース。精一杯仕上げたし頑張っただけ」との雑賀調教師のコメントを掲載。本紙同



写真●高知県競馬組合

2015年建依別賞を制したエプソムアールン

様、すっかり自分も◎だったつもりでいたが、当時の予想紙を見ると▲だったのは今更ながら痛恨の極みである。

今回、ここでエプソムアールンの功績を振り返るにあたり、雑賀調教師にその報告をすると「あの馬は偉かったな。自分で自分の引退レースを飾ったもんな」と。重賞レースではなく引退レースに触れたのは意外だったが、雑賀調教師もエプソムアールンの晩年には特別な思いがあったのかしれない。高知競馬も賞金水準が上がりレースレベルもアップしているが、エプソムアールン等の強豪が溢れていた時代の熱さは今でも忘れることができない。

風間恒一 (かざま こういち)

1971年福岡県北九州市生まれ。高校時代にオグリキャップと南井騎手とのコンビにハマる。大学時代を高知で過ごし、卒業後は数年さまよったのちに1998年、高知競馬専門紙「中島競馬」に就職。

Pickup!! 注目重賞

第56回ばんえい記念
3月17日(日) 4歳以上 帯広200m

今年で56回目を迎えるばんえい最強馬決定戦。シーズン最終日のメインレースに行われる1年の総決算で、ばんえい競馬における最高重量である1トンの定量(牝馬20キロ減、4・5歳10キロ減)で争われることから“世界一長い1ハロン戦”とも呼ばれている。発走前のファンファーレも聴きどころのひとつで、陸上自衛隊第5音楽隊による生演奏が通例となっており、4市開催だった頃の旧・重賞ファンファーレ、帯広



写真○ばんえい十勝

23年はメモロボブサップが2度目の挑戦で初制覇

単独開催となった07年度以降の現・重賞ファンファーレと2曲続けて演奏される。

ばんえい記念は同一馬による複数回の優勝が多く、2003~06年に4連覇したスーパーペガサスは、ばんえい史上7頭目の取得賞金1億円超えを達成。ほかにトモエパワーは07~09年に3連覇、オレノココロは17、18、20年と3回勝利するなど、これまで3回以上勝利した馬は6頭いる。

23年はメモロボブサップが2度目の挑戦で勝利し、アオノブラックが2着で7歳馬同士の決着。この2頭は今シーズンも古馬戦線の中心的存在で、11月末現在、メモロボブサップが北斗賞、旭川記念、ばんえいグランプリと重賞3勝。アオノブラックは岩見沢記念、北見記念を制している。今年も、ここまで古馬主要重賞のほとんどのタイトルを分け合っているこの2頭を中心に熱い戦いが展開されそうだ。

第1回ネクストスター中日本
3月28日(木) 3歳 名古屋1500m

『全日本的なダート競走の体系整備』のひとつとして、昨年の2歳戦から地方デビュー馬による高額賞金の重賞級認定競走『ネクストスター』が始まった。全国8競馬場で行われた2歳のネクストスターは開催

場の所属馬限定だが、3歳のネクストスターは、北日本、中日本、西日本がブロック限定、東日本が地方全国交流。2・3歳の短距離路線として、今年から1400mに距離短縮される5月の兵庫チャンピオンシップJpnⅡへとつながる。

中日本ブロックである北陸・東海地区で行われた2歳のネクストスターを振り返る。9月24日に行われたネクストスター金沢(1400m)は、ダヴァンティ(牝、佐藤茂厩舎)が石川テレビ杯に続いての重賞勝ちで、デビューから3連勝。10月12日に行われたネクストスター笠松(1400m)は、ワラシベチヨウジャ(牝、笹野博司厩舎)がデビューから無傷の5連勝で重賞初制覇。ともに地元生え抜きで、圧倒的支持に応えての勝利となった。また10月31日に行われたネクストスター名古屋(1500m)も断然人気のミトノユニヴァース(牡、角田輝也厩舎)が勝利。デビューした北海道で1勝、移籍初戦の1500m戦を1分35秒9の好時計で勝利すると、その勢いのまま重賞タイトルを手にした。

年明けの3歳短距離重賞としては、笠松・ジュニアグロウリー(3月7日・1400m)も新設されるなど、新たなスター誕生の可能性も含め、ネクストスター中日本は楽しみな一戦になりそうだ。

ばんえい競馬



場番号 帯広03#

●シーズンはクライマックスへ

ばんえい競馬では、2歳、3歳のほか、ばんえい特有の4歳シーズンの三冠路線も設定されている。3歳はマルホンリョウユウが『ばんえい菊花賞(BG2)』を、4歳はキングフェスタが『銀河賞(BG2)』をそれぞれ制し二冠を達成した。三冠最終章はともに実績馬に有利な定量戦。ばんえいダービー(BG1)の結果は本稿執筆時点では分からないが、もしマルホンリョウユウが制し、キングフェスタも天馬賞(BG1)を勝てば、六冠馬メモロボサップ以来となる3歳、4歳の三冠馬誕生となる。なお、二冠達成までの騎乗は



11月5日 ばんえい菊花賞 マルホンリョウユウ

両馬とも鈴木恵介騎手で、前人未到の同一シーズン3歳・4歳ダブル三冠達成に挑むことになる。

古馬路線では、アオノブラックが『岩見沢記念(BG2)』、『北見記念(BG2)』の重賞2連勝。特に北見記念ではライバルのメモロボサップとの一騎打ちを制し3連覇を達成しており、メモロボサップ強ムードにくさびを打ち込む活躍を見せた。シーズン最終日の大一番『ばんえい記念(BG1)』まで、息詰まる同世代ライバル対決が続きそうだ。

2歳にとっての初重賞『ナナカマド賞(BG3)』は、果敢に逃げたホクセイポールシェが後続を振り切って勝利。昨季が初年度産駒デビューだった父フジダイビク



10月29日 北見記念 アオノブラック

トリーに重賞初制覇の栄冠をもたらした。ホクセイポールシェは9月に行われた初の牡馬特別戦・青雲賞も勝利しており、2歳シーズン頂点のイレネー記念(BG1)へ向け上位拮抗の争いから頭ひとつ抜けた。

文●板垣雅己(ねっとばんばんキントロー)

●ばんえい競馬重賞勝ち馬一覧 2023年9月～2023年11月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
9/17	岩見沢記念(3歳以上)	200	アオノブラック(牡7)	金田利貴	ばんえい・金田 勇
9/24	銀河賞(4歳)	200	キングフェスタ(牡4)	鈴木恵介	ばんえい・小北栄一
10/15	ナナカマド賞(2歳)	200	ホクセイポールシェ(牡2)	西 謙一	ばんえい・大友栄人
10/29	北見記念(3歳以上)	200	アオノブラック(牡7)	金田利貴	ばんえい・金田 勇
11/5	ばんえい菊花賞(3歳)	200	マルホンリョウユウ(牡3)	鈴木恵介	ばんえい・金田 勇
11/12	クインカップ(4歳牝)	200	アローリキヒメ(牝4)	中山直樹	ばんえい・小林長吉
11/26	ドリームエイジカップ(4歳以上選抜)	200	サクラヒメ(牝5)	渡来心路	ばんえい・今井茂雅

岩手競馬



場番号 盛岡11・水沢12#

●フジュージーン視線は全国へ

南部駒賞は水沢期待のフジュージーンが勝ち、5戦5勝で3つめの重賞タイトルを手にした。このレースは廃止された新潟、上山と争った『東北サラブレッド3歳チャンピオン』の条件を受け継ぎ、2000年から東北交流に。04年からは地方全国交流となり、ここ5回は門別勢が連勝中。今回は門別、船橋から重賞勝ち馬が出走し、史上最高レベルと思われたが、フジュージーンはそれを問題にせず、4馬身差の圧勝。走破時計も1分38秒0と素晴らしいものだった。陣営は無理のないローテーションを考えており、ここで冬休みに入る模様だが、3歳の新しいダート



10月3日 ネクスター盛岡 フジュージーン

三冠路線は当然意識の中にある。3月の水沢開催からの出走、あるいはいきなりの他地区遠征は十分に考えられる。

●南関東三冠馬が歴史を締めくくる

ダービーグランプリは南関東の無敗の三冠馬ミックファイアが登場、マンダリンヒーローを振り切って7連勝を達成した。超強豪のエントリーにより7頭立て

の少頭数となったが、ミックファイアの登場が話題を呼び、当日の盛岡競馬場入場者は4966人。マーキュリーカップJpnⅢ、クラスタースターカップJpnⅢ当日の数字を上回る大賑わいとなった。ダービーグランプリは36回目をもって最終回となるが、今年からは不來方賞がダートグレードとなってその後を受け継ぐことになる。

文●深田桂一(ケイシュウNEWS)

●岩手競馬重賞勝ち馬一覧 2023年9月～2023年11月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
9/3	不來方賞(3歳)	水沢2000	ルーンファクター(牡3)	坂口裕一	岩手・千葉幸喜
9/10	青藍賞(3歳以上)	水沢1600	ゴールデンヒーロー(牝5)	山本政聡	岩手・佐藤祐司
9/17	ジュニアグランプリ(2歳)	盛岡芝1600	トワイライトウェイ(牡2)	落合玄太	北海道・田中淳司
9/18	OROオータムティアラ(3歳牝)	盛岡2000	ミアアチュール(牝3)	山本政聡	岩手・佐藤祐司
9/24	ヴィーナススプリント(3歳以上牝)	盛岡1200	キラットダイヤ(牝6)	鈴木 祐	岩手・板垣吉則
9/26	岩手県知事杯OROカップ(3歳以上)	盛岡芝1700	アトミックフォース(牡7)	笹川 翼	船橋・山下貴之
10/1	ダービーグランプリ(3歳)	盛岡2000	ミックファイア(牡3)	御神本訓史	大井・渡邊和雄
10/3	ネクスター盛岡(2歳)	盛岡1400	フジュージーン(牡2)	村上 忍	岩手・瀬戸幸一
10/9	マイルチャンピオンシップ南部杯JpnI	盛岡1600	レモンポップ(牡5)	坂井瑠星	JRA・田中博康
10/15	若駒賞(2歳)	盛岡1600	ミヤギヴァリアント(牡2)	村上 忍	岩手・菅原 勲
10/17	サファイア賞(3歳)	盛岡芝2400	ダット(牝3)	高橋悠里	岩手・永田幸宏
10/22	OROターフスプリント(3歳以上)	盛岡1000	マッドシェリー(牝5)	神尾香澄	川崎・山田 質
10/29	プリンセスカップ(2歳牝)	盛岡1400	コモリリーガル(牝2)	村上 忍	北海道・米川 昇
11/5	絆カップ(3歳以上)	盛岡1200	キラットダイヤ(牝6)	鈴木 祐	岩手・板垣吉則
11/12	南部駒賞(2歳)	盛岡1600	フジュージーン(牡2)	村上 忍	岩手・瀬戸幸一
11/19	北上川大賞典(3歳以上)	盛岡2600	ノーブルサターン(牡9)	高松 亮	岩手・板垣吉則

金沢競馬

場番号 41#

●ネクストスターの功と罪

全国8カ所の地方競馬に新設された2歳秋のネクストスターは各地の重賞路線に強烈なインパクトを与えた。金沢でも例外ではなく、1着賞金1000万円は、ダートグレードの白山大賞典JpnⅢに次ぐ高額賞金レースで、各陣営の力の入り方はハンパなかった。

勝ったのはダノンレジェンド産駒の牝馬ダヴァンティ。スタートからダッシュ力の違いで先頭に立ち、3コーナーで後続に詰め寄られても逆に手綱を抑えたまま突き放し、4コーナーを単独の先頭で回って2着以下を2馬身半引き離す快勝劇。1400メートル戦の勝ちタイム1分28秒9は、2カ月前にデビューしたばかりの2歳馬が出したとは思えない破格の



9月24日 ネクストスター金沢 ダヴァンティ

走破時計だった。

しかし、その後は出走態勢が整わず金沢シンデレラカップを回避し、11月9日の笠松・ラブミーチャン記念を目指したが登録のみに止まり、金沢ヤングチャンピオンにも間に合わなかった。

その金沢ヤングチャンピオンは例年だと金沢2歳王者を決める一戦として盛り上がりを見せるが、今年は重賞勝ちもJRA認定勝ちも準重賞勝ちさえもない手薄なメンバーになってしまった。

ネクストスター創設により、早めにピークへ仕上げる必要に迫られ、昨年まで初重賞（金沢プリンセスカップ）→初の



11月21日 金沢ヤングチャンピオン リメンバーアポロ交流（金沢シンデレラカップ）→初の牝馬との対戦（兼六園ジュニアカップ）→初の1700メートル（金沢ヤングチャンピオン）と、段階を踏んでいた金沢2歳重賞路線のバランスが崩れたように感じる。来年度以降の2歳重賞の日程と賞金額見直しが求められる。

文●中部地方競馬記者クラブ

●金沢競馬重賞勝ち馬一覧 2023年9月～2023年11月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
9/3	サラブレッド大賞典(3歳)	2000	ダイヤモンドライン(牝3)	栗原大河	金沢・佐藤 茂
9/24	ネクストスター金沢(2歳)	1400	ダヴァンティ(牝2)	栗原大河	金沢・佐藤 茂
9/26	白山大賞典JpnⅢ(3歳以上)	2100	ウィルソンテソーロ(牡4)	川田将雅	JRA・小手川準
10/8	金沢スプリントカップ(3歳以上)	1400	クローファアチャラ(牝6)	落合玄太	北海道・田中淳司
10/15	MRO金賞(3歳)	1400	ノブノビスケッツ(牡3)	青柳正義	金沢・加藤和宏
10/22	金沢シンデレラカップ(2歳牝)	1500	シラルテミニ(牝2)	田中 学	北海道・田中淳司
11/5	北國王冠(3歳以上)	2600	アンタンスルフレ(セン5)	丸野勝虎	名古屋・角田輝也
11/19	徽軫賞(3歳以上牝)	1400	競走取りやめ		
11/21	金沢ヤングチャンピオン(2歳)	1700	リメンバーアポロ(牡2)	中島龍也	金沢・佐藤 茂

笠松競馬



場番号 42#

●快進撃ワラシベチョウジャ

古馬戦線は、交流重賞では力と地区レベル差もあって遠征勢に決まって優勝を奪われ、東海限定重賞では名古屋勢の後塵を拝してばかりの笠松勢。

そんななか、まばゆいばかりの輝きを放つのが若駒ワラシベチョウジャ。新馬戦でのデビューからスピードと決め脚を存分に披露し、連勝街道をばく進中（11月30日終了現在）。2023年に新設されたネクストスター笠松で、笠松2歳チャンピオンの座をいともあざやかに無傷の5連勝でつかんだ。

完勝で決めた8月秋風ジュニア、9月ジュニアクラウンの準重賞連勝時より着



10月12日 ネクストスター笠松 ワラシベチョウジャ

差こそ1馬身半と縮まったが、コース内の馬場が深く重たい中、不利な1枠スタートもなんのその。好発を決めて内で巧みに流れに乗り、勝負どころの向正面半ば過ぎに外に出して仕掛けるや、3コーナー過ぎで先頭へ。おおいすがら後続馬を直線しっかりと振り切り、重賞初挑戦ながら単勝1.2倍の圧倒的1番人気にこたえてみせた。

「(4戦4勝で)プレッシャーはありません。でも強い馬に乗っていることを楽しみながら乗ろうと。内に包まれないように、とだけは気をつけました。どんな競馬もできて、自信を持って乗ることができる馬です」。10月23日に自身が持つ笠松競馬場における年間最多勝記録（164勝）をさらに更新することになる若武者・渡邊竜也騎手は胸を張って優勝イン



11月21日 笠松グランプリ ルーチェドーロ

タデビューで賛辞を贈った。

デビューからの最大ターゲットを射止めたため、ミニ充電を凶ってから復帰する予定のワラシベチョウジャ。「ゆっくり目標レースを考えたいね」と笹野博司調教師。笠松希望の新星が名古屋勢や他地区勢と相まみえる交流重賞での戦いが、なんとも待ち遠しい。

文●中部地方競馬記者クラブ

●笠松競馬重賞勝ち馬一覧 2023年9月～2023年11月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
9/28	オータムカップ(3歳以上)	1900	トランスナショナル(セン7)	松戸政也	金沢・井樋一也
10/12	ネクストスター笠松(2歳)	1400	ワラシベチョウジャ(牝2)	渡邊竜也	笠松・笹野博司
11/9	ラブミーチャン記念(2歳牝)	1600	ヴィヴィアンエイト(牝2)	岡部 誠	北海道・齊藤正弘
11/21	笠松グランプリ(3歳以上)	1400	ルーチェドーロ(牡5)	藤原幹生	川崎・池田 孝

写真●愛知県競馬組合

名古屋競馬

場番号 43#

●2023年2歳戦線を振り返る

ブリーザフレスカが秋桜賞、ゴールド争覇の交流重賞連勝で本格化を印象づければ、金沢・北國王冠、東海菊花賞の交流重賞2連勝でアンタンスフレがタフネスぶりを示した。古馬陣も気を吐いたが、今年の3歳三冠路線へ名乗りを上げた若駒たちの走りは、脳裏にしっかり刻まれたはずだ。

2歳王者決定戦のネクストスター名古屋で、強烈アピールに成功したのはミトノユニヴァース。門別からの転入戦だった10月の1組特別を鮮やかな差し切りで仕留めたばかりの新興勢力は、続くネクストスター名古屋とあっさり連勝。中団外からあふれる好手ごたえで上昇し、



10月31日 ネクストスター名古屋 ミトノユニヴァース

3コーナー手前で早めに先頭に立つと、あとはひとり旅。同日の古馬B級2組特別よりも1秒近く速い時計で駆け悠々5馬身差Vで仕留めた。「『思い切ったレースをしてこい』と先生(角田輝也調教師)にチャンス을 いただいて、勝てたのがうれしい」。1番人気の重賞も果たしたヤング細川智史騎手の笑顔が最高に輝いた。

ゴールドウイング賞では、フークピグマリオンが一気にスターダムに駆け上がった。重賞初参戦の伏兵が、直線一完歩ごとに差を詰め、王者ミトノユニヴァースをゴール直前で捉え、管理する宇都英樹調教師に2020年4月の厩舎開業以来、うれしい重賞初制覇をプレゼントした。「回避馬が出ての参戦で、ホントまさかで



11月28日 ゴールドウイング賞 フークピグマリオン

す。つかみどころがない馬ですし、まだ不安定で……」と夢見心地で話した宇都調教師の白い歯がなんとも印象的だった。

23年の名古屋2歳戦線は、2つの重賞と認定4競走をすべて違う馬が勝利。レース毎に新星が誕生し、3歳戦線は戦国ムードが漂う。予断を許さない戦いになることだろう。

文●中部地方競馬記者クラブ

●名古屋競馬重賞勝ち馬一覧 2023年9月～2023年11月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
9/5	秋桜賞(3歳以上牝)	1700	ブリーザフレスカ(牝4)	塚本征吾	名古屋・塚田隆男
9/22	秋の鞍(3歳)	1500	ナイトオブバンド(牡3)	岡部 誠	船橋・米谷康秀
10/5	ゴールド争覇(3歳以上)	1500	ブリーザフレスカ(牝4)	塚本征吾	名古屋・塚田隆男
10/31	ネクストスター名古屋(2歳)	1500	ミトノユニヴァース(牡2)	細川智史	名古屋・角田輝也
11/16	東海菊花賞(3歳以上)	2100	アンタンスフレ(セン5)	丸野勝虎	名古屋・角田輝也
11/28	ゴールドウイング賞(2歳)	1700	フークピグマリオン(セン2)	塚本征吾	名古屋・宇都英樹

兵庫競馬



場番号 園田51・姫路52#

●イグナイターが兵庫初の快挙

NARグランプリ2022・年度代表馬イグナイターが、地方競馬の祭典・JBCの短距離部門、JBCスプリントで頂点に立ち、兵庫勢初となるJpnI制覇の快挙をもたらした。好スタートを決めて2番手に取りつくと、残り200メートルで先頭へ。外から1番人気のリメイクが迫ってきたが、ゴール前でもう一度突き放して夢をつかみ取った。「きっと(タガノ)ジンガロが後押ししてくれたんだと思います」と話す新子雅司調教師のコメントが印象的だった。今年はいよいよ海外挑戦も視野に入る。

●いぶし銀ジョッキーの活躍

ダート競走の体系整備により新設された2歳重賞のネクストスター園田はマミエミモタローが、トウケイカッター



イグナイターがJBCスプリントでJpnI制覇

の猛迫を振り切ってデビューから無傷の4連勝を達成した。「ゴール前で脚が上がったのは間隔があったからかな。これから調教でも最善の注意を払っていきたい」と川原正一騎手。自身が持つ地方競馬における重賞の最年長勝利記録を64歳6カ月28日に更新した。闘志はまったく衰えていない。

9月14日には中央・地方で2000勝以上を挙げる名手が集う『第30回ゴールドenjock杯』が行われた。最大の注目は10大会ぶりとなる武豊騎手、横山典弘騎手の参戦。武騎手はスペシャルウィーク、横山典騎手はメジロライアの勝負服を身にまとうファン垂涎の企

●兵庫競馬重賞勝ち馬一覧 2023年9月～2023年11月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
9/7	園田オータムトロフィー(3歳)	園田1700	スマイルミーシャ(牝3)	吉村智洋	兵庫・飯田良弘
9/15	園田チャレンジカップ(3歳以上)	園田1400	イグナイター(牡5)	田中 学	兵庫・新子雅司
9/21	園田プリンセスカップ(2歳牝)	園田1400	コモリリーガル(牝2)	下原 理	北海道・米川 昇
9/28	姫山菊花賞(3歳以上)	園田1700	ラッキードリーム(牡5)	下原 理	兵庫・新子雅司
10/12	ネクストスター園田(2歳)	園田1400	マミエミモタロー(牡2)	川原正一	兵庫・諏訪貴正
10/20	兵庫ゴールドカップ(3歳以上)	園田1230	ダノンジャスティス(セン7)	上田将司	高知・別府真司
10/27	兵庫クイーンカップ(3歳以上牝)	園田1870	ハクサンアマゾネス(牝6)	吉原寛人	金沢・加藤和義
11/1	楠賞(3歳)	園田1400	ボヌールパローズ(牝3)	吉原寛人	大井・福永 敏
11/22	兵庫ジュニアグランプリJpnII(2歳)	園田1400	イーグルノワール(牡2)	松山弘平	JRA・音無秀孝

写真●兵庫県競馬組合



10月12日 ネクストスター園田 マミエミモタロー

画もあり、多くのファンが園田へ駆けつけた。総合優勝を果たしたのは第2戦を制した武騎手。最後までスーパースターの貫禄を示した。またレジェンドジョッキーが誘導馬に乗る企画も復活し、現調教師の北野真弘、永島太郎、木村健、田中道夫の名手4人が当時の勝負服を着て誘導を勤め上げた。

文●松本健史(大阪日刊スポーツ)

高知競馬

場番号 55#

写真●高知県競馬組合

●熱戦続きの2歳戦

今年度からJRA2歳認定競走がスタートし準重賞の堆金菊特別をシュクメルリ、潮菊特別をウオタカが勝利。そして10月29日に行われた世代初の重賞『第1回ネクストスター高知』（1400メートル）では正攻法の競馬でプリフロオールインが圧勝を飾った。8月のデビュー戦（800メートル）ではウオタカの2着だったが、その後は1300メートルに距離が延びて2連勝。単勝1.3倍の支持を受け4馬身差でタイトルを手にした。2番人気だった同厩舎のウオタカは大外枠が災いしたか9着。シュクメルリは11着に終わった。



10月29日 ネクストスター高知 プリフロオールイン

今後はJRAや地方他地区からの移籍馬やまだデビューしていない馬との対戦が待ち構えているが、プリフロオールインもかなりの将来性を秘めていることは確か。どのような盛り上がりを見せてくれるだろうか。

●世代重賞コンプリート

11月19日に行われた『第12回土佐秋月賞』（1600メートル）は14年ぶりの3歳三冠を達成したユメノホノオが貫禄勝ちを飾った。主戦、吉原寛人騎手の落馬負傷により石川倭騎手との初コンビとなったが、ここでも異次元の末脚を披露。2着サンマルーンもよく食い下がったものの、余裕十分に2馬身半差でゴールを駆け抜けた。今回の勝利で計5レースある3歳重賞をコンプリート。もちろん初の快挙であり取得賞金も1億円が目前と



11月19日 土佐秋月賞 ユメノホノオ

なった。今後は距離適性的に黒船賞路線となると微妙な印象もあるが、県外遠征等を含む活躍も期待しなくなるのは当然。まだまだ夢の続きを見せてくれることだろう。ただ心配な点を挙げるならやはりゲートか。スタート自体は大出遅れとなった高知優駿よりは良かったが、ゲート内では何度も立ち上がるシーンを見せていた。そのあたりはなんとか修正されればと願うばかりである。

文●風間恒一（中島高級競馬騎手）

●高知競馬重賞勝ち馬一覧 2023年9月～2023年11月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
9/18	珊瑚冠賞(3歳以上)	1900	グッドヒューマー(セン9)	宮川 実	高知・打越勇児
10/29	ネクストスター高知(2歳)	1400	プリフロオールイン(牡2)	宮川 実	高知・打越勇児
11/5	黒潮マイルチャンピオンシップ(3歳以上)	1600	ガルボマンボ(牡4)	林 謙佑	高知・細川忠義
11/19	土佐秋月賞(3歳)	1600	ユメノホノオ(牡3)	石川 倭	高知・田中 守

佐賀競馬



場番号 61#

写真●佐賀県競馬組合

●地元デビュー馬優位だった2歳

例年、佐賀では2歳戦後期から他地区・JRAデビュー馬が活躍しはじめるが、2023年は佐賀デビュー馬優勢で推移した。新設のネクストスター佐賀は、ウルトラノシが勝利。道中4番手から直線でムーンオブザサマーを1馬身1/4交わして初代王者の座を獲得した。6月のデビュー勝ちのあと、3カ月の休養明けで臨んだ九州ジュニアチャンピオンは4着だったが、続くネクストスター佐賀、1800メートルに距離が延びたカペラ賞も勝利。重賞2連勝で佐賀2歳の頂点に立った。冬場は休養に充て、春の3歳三冠路線を目標にする予定とのことだ。

また九州ジュニアチャンピオンの勝ち



10月1日 ネクストスター佐賀 ウルトラノシ

馬トゥールリーが、ネクストスター佐賀3着、カペラ賞2着。佐賀デビュー馬限定の明け3歳戦として行われてきた佐賀若駒賞が今年度は重賞に昇格。ここをステップに春の活躍を期待したいところ。

●遠征馬相手に好勝負期待

ヒストリーメイカーは昨年2月、転入初戦の姫路・白鷺賞を勝利していたが、10月14日の由布岳賞で佐賀のレース初勝利。続く名古屋・東海菊花賞では3着に健闘している。九州大賞典はタガノファジョーロが勝利し前年2着の雪辱。クビ差の2着にはロータスクラウン賞勝ち馬ブレイブアモーレが入り、古馬中長距離路線は佐賀記念JpnⅢへ向け役者が揃



11月26日 ウインターチャンピオン ロンドンテソーロってきた。一方、短距離路線では、佐賀オータムスプリントをタケノサイコウ、ウインターチャンピオンをロンドンテソーロがそれぞれ勝利と、新興勢力が台頭。ゴールドスプリントで他地区馬とどれだけ戦えるかに注目したい。

文●上妻輝行

●佐賀競馬重賞勝ち馬一覧 2023年9月～2023年11月

日付	レース名(条件)	距離	勝ち馬名(性齢)	騎手名	所属・調教師名
9/3	九州ジュニアチャンピオン(2歳)	1400	トゥールリー(牡2)	出水拓人	佐賀・北村欣也
9/10	西日本ダービー(3歳)	2000	ショウガタツリ(牝3)	吉原寛人	金沢・高橋俊之
9/24	鳥栖大賞(3歳以上)	2000	アラジンパローズ(セン6)	下原 理	兵庫・新子雅司
10/1	ネクストスター佐賀(2歳)	1400	ウルトラノシ(牡2)	石川 倭	佐賀・真島元徳
10/15	佐賀オータムスプリント(3歳以上)	1400	タケノサイコウ(牡4)	飛田愛斗	佐賀・古賀光範
10/22	カペラ賞(2歳)	1800	ウルトラノシ(牡2)	石川 倭	佐賀・真島元徳
11/12	九州大賞典(3歳以上)	2500	タガノファジョーロ(牡7)	田中 純	佐賀・九日俊光
11/26	ウインターチャンピオン(3歳以上)	1400	ロンドンテソーロ(牡7)	山下裕貴	佐賀・鮫島克也

競馬場別 騎手リーディング Top3

(2023年1月1日～11月10日)

ばんえい競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	鈴木恵介	946	170	114	86	18.0	30.0	99,652,500
2	島津 新	880	118	88	67	13.4	23.4	66,849,500
3	西 将太	935	105	104	88	11.2	22.4	58,917,500

岩手競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	村上 忍	744	141	127	100	19.0	36.0	159,191,000
2	高松 亮	741	113	93	85	15.2	27.8	122,419,000
3	山本政聡	756	110	95	113	14.6	27.1	141,705,000

金沢競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	栗原大河	605	103	69	86	17.0	28.4	102,469,000
2	青柳正義	509	89	87	73	17.5	34.6	87,895,000
3	吉原寛人	277	84	64	38	30.3	53.4	87,066,000

東海地区(笠松競馬・名古屋競馬)

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	岡部 誠	1,043	218	171	150	20.9	37.3	230,623,000
2	渡邊竜也	710	191	124	82	26.9	44.4	163,042,000
3	丸野勝虎	873	141	100	113	16.2	27.6	149,093,000

笠松競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	渡邊竜也	589	183	109	67	31.1	49.6	136,757,000
2	藤原幹生	622	70	74	60	11.3	23.2	57,758,000
3	岡部 誠	316	61	58	45	19.3	37.7	73,322,000

名古屋競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	岡部 誠	727	157	113	105	21.6	37.1	157,301,000
2	加藤聡一	750	113	93	81	15.1	27.5	110,617,000
3	丸野勝虎	670	107	75	85	16.0	27.2	112,335,000

兵庫競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	吉村智洋	1,046	293	220	137	28.0	49.0	478,115,000
2	下原理	930	166	127	111	17.8	31.5	348,231,500
3	田中学	750	151	102	84	20.1	33.7	301,215,000

高知競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	赤岡修次	365	143	46	37	39.2	51.8	208,907,500
2	宮川 実	399	103	80	60	25.8	45.9	189,405,000
3	永森大智	486	86	62	73	17.7	30.5	142,375,000

佐賀競馬

順位	氏名	騎乗回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	飛田愛斗	710	116	101	95	16.3	30.6	128,756,000
2	山口 勲	432	91	72	54	21.1	37.7	104,996,500
3	山田義貴	628	90	69	68	14.3	25.3	91,597,500

競馬場別 調教師リーディング Top3

(2023年1月1日～11月10日)

ばんえい競馬

順位	氏名	出走回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	金田 勇	817	97	105	112	11.9	24.7	92,386,500
2	松井浩文	787	91	79	87	11.6	21.6	74,994,000
3	服部義幸	702	81	60	44	11.5	20.1	36,004,000

岩手競馬

順位	氏名	出走回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	菅原 勲	489	77	64	54	15.7	28.8	91,738,000
2	板垣吉則	425	74	62	55	17.4	32.0	101,323,000
3	三野宮通	593	63	63	66	10.6	21.2	62,410,000

金沢競馬

順位	氏名	出走回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	加藤和宏	546	110	71	58	20.1	33.2	83,383,000
2	井樋一也	589	102	75	64	17.3	30.1	72,370,000
3	加藤和義	640	84	89	80	13.1	27.0	83,868,500

東海地区(笠松競馬・名古屋競馬)

順位	氏名	出走回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	笹野博司	717	150	117	105	20.9	37.2	132,642,500
2	角田輝也	725	148	109	88	20.4	35.4	162,078,000
3	今津博之	628	118	84	70	18.8	32.2	133,686,000

笠松競馬

順位	氏名	出走回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	笹野博司	707	150	114	104	21.2	37.3	126,176,500
2	後藤佑耶	660	110	79	67	16.7	28.6	76,245,000
3	加藤幸保	724	84	76	93	11.6	22.1	69,361,500

名古屋競馬

順位	氏名	出走回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	角田輝也	673	132	94	83	19.6	33.6	142,350,000
2	今津博之	557	93	66	60	16.7	28.5	101,195,000
3	川西 毅	260	74	41	34	28.5	44.2	89,479,000

兵庫競馬

順位	氏名	出走回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	飯田良弘	368	84	60	43	22.8	39.1	173,644,000
2	柏原誠路	245	81	45	28	33.1	51.4	124,350,000
3	森澤友貴	314	65	36	29	20.7	32.2	92,896,000

高知競馬

順位	氏名	出走回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	田中 守	574	173	79	74	30.1	43.9	352,737,500
2	打越勇児	617	158	125	83	25.6	45.9	286,710,000
3	雑賀正光	749	90	95	86	12.0	24.7	174,642,500

佐賀競馬

順位	氏名	出走回数	1着	2着	3着	勝率(%)	連対率(%)	取得賞金(円)
1	手島勝利	582	88	76	57	15.1	28.2	101,862,000
2	山田 徹	560	82	59	61	14.6	25.2	82,705,500
3	真島元徳	476	70	53	44	14.7	25.8	110,698,000

ジョッキーインタビュー

取材・文●浅野靖典

林謙佑騎手は2015年に船橋競馬でデビューしたが、高知での期間限定騎乗を重ねて18年4月から高知競馬所属となった。

千葉県松戸市出身で、それで船橋でデビューさせていただけることになったのですが、当時は騎手が今よりも多くて、なかなかレースに乗れない状況でした。それで『とにかくたくさん』と、高知へ修業に行くことになりました。その話がまとまったのが、今の所属厩舎（田中守厩舎）の馬が船橋に遠征してきていたとき。赤岡修次さんに（船橋で所属した伊藤滋規）先生が相談して、高知は騎手が足りないからと、すぐに期間限定騎乗が決まりました。高知では、競馬場のみなさんがとてもあたたかくて、すぐになじめましたね。今になって振り返ると、船橋の時は気持ちで負けていたように思うんです。それが高知に来て、のびのびと乗れるようになったかなと思います。

高知で期間限定騎乗をする騎手は多いが、完全移籍となると例は少ない。

僕も最初は移籍までは考えていなかったですよ。その当時、船橋の騎手だった山頭（信義）さんは高知所属になっていましたが、僕は2回目の期間限定騎乗（17年3月25日から18年3月22日まで）のあとは船橋に戻るつもりでした。でも高知で良い縁があったことで、高知の人間になろうと考えが変わったんです。

ただ、移籍を決めたときは1回目の期間限定騎乗（15年8月22日から16年8月21日まで）と違い、騎手不足が徐々に解消してきた時期だった。

郷間勇太さんが移籍するとき（17年7月）は、認められるまでけっこう時間がかかっていました。それがあったので僕は早めに希望を出していて、船橋のみなさんにも伝えていました。あと、僕は高知の人と結婚したという点が大きかったかもしれないですね。関係者も「しょうがないな」みたいな雰囲気でも、わりとスムーズに希望を受け入れてもらえたように思います。

そして正式に高知の騎手になり、22年はガルボマンボとのコンビで高知優駿を勝ち、大晦日の高知県知事賞も制覇した。

ダービーの前までは、僕自身がまだガル



ガルボマンボで制した22年高知優駿

ボマンボにはどういう形が合っているのか、よく分かっていなかった感じがするんです。ダービーは前のほうに付けて押し切るという、ガルボマンボにとって良い形を取れたと思うのですが、それをその前からやっていたら、とは思います。黒潮阜月賞では差し脚を伸ばす形にしようと思ったら、予想よりもエンジンがかからなくて……。

ガルボマンボは他厩舎だったが、林騎手の所属はリーディング上位の田中守厩舎。結果を求められる馬がたくさんいる。

たしかにいい馬に乗せていただく機会も多いです。ただ、高知の特徴だと思いますが、自分のレースでのスケジュールが決まるのがその週の水曜日なんです。そこで「この馬に乗るのか」と分かることがよくあります。なかには調教にすら乗ったことがないケースもありますね。出馬投票で騎手が手配できなかったときに僕を指名してくださいっているみたいです。

ここ数年、60勝以上を挙げていることが多いが、21年だけは前年のおよそ半分である38勝にとどまった。

そこだけ勝ち星が減った理由は自分が原因ではなくて、その年は勝てる馬が他の競馬場から入ってくるが多かった影響だと思います。それまでは乗り方ひとつで勝利が狙えていたのが、1頭だけ強い馬がいるというレースが増えたからではないかと。実際、その年は2着と3着が多かったので（2着が84回、3着が90回）。

しかしその逆境は1年で終了。22年は60勝を挙げ、23年は11月中旬の時点で昨年の勝ち星を上回った。

でも勝利数はあまり気にしていないんですよ。ひとつひとつを大切に乗り、攻め馬もしっかり乗ることが重要だと思っていますから。

その攻め馬のスケジュールを伺った。

だいたい午前2時頃からスタートして、15頭から20頭くらい乗ります。自厩舎は山頭さんがたくさん乗ってくださるので、僕は自厩舎と他厩舎が半々くらいです。ちなみにガルボマンボは（元騎手の）三村展久さんがしっかりと仕上げてくださいています。ガルボマンボは夏にすこし疲れが残っている感じがしましたが、黒潮マイルチャンピオンシップでは外に張りぎみに走る点を考えてインを回ったことがうまくハマって久しぶりの勝利。良かったです。

そして高知競馬をV字回復に押し上げた要素のひとつが『一発逆転ファイナルレース』。林騎手はファイナル限定での成績が上位となっている。

林 謙佑（高知）

はやし けんすけ



1995年4月22日生まれ おうし座 O型
千葉県出身 田中守厩舎
初騎乗/2015年6月9日
地方通算成績/5,237戦457勝
服色/胴青・白星散らし、袖白
重賞勝ち鞍/高知県知事賞、高知優駿、だるま夕日賞、二十四万石賞など9勝
※2023年11月21日現在

僕の場合、乗り方はレースごとに違います。その馬に合わせるか、新しい形を取るか。出走馬を見て前に行く馬が多そうだったら逆に後ろから行くとか、それ以外のレースより頭を使いますね。よく勝つ塚本（雄大）騎手は前に行くことが多いですが、僕は臨機応変型かな。ファンのみなさんも頭を悩ませていると思いますが、乗っている側も深く面白いレースです。

それらを含めて林騎手は順調にキャリアを重ねているように映る。

いろいろと僕は恵まれていると思います。ケガもこれまでほとんどないですし。以前、ゲートで馬が立ち上がった勢いで後ろに放り出されたことがあるんですが、ちょうど厩務員さんがそこにおいて、僕をキャッチしてくれて無傷だったことがあるんですよ。高知に所属できたことも含めて、持っている運もあるのかなあ。そういえば僕の初勝利が船橋で、通算100勝が高知だったんですが、それが同じ馬なんです。その馬は僕の初勝利から全く勝てなくて、その100勝目がそれ以来の勝利。しかも馬主さんが松戸の人で、姉の友人の父。こんなことがあるのかと、自分でもびっくりしました。

今後の目標と現時点で課題と感じていることについても伺った。

数字的なものでは、前の年を上回れるようにというくらい。それよりも自分の技術の幅を広げたいと思っています。たとえば騎乗姿勢。高知は馬場が重いので押していかないと馬が動かないんですが、でももう少しきれいな格好にしたいですね。吉原寛人騎手が最後は腰を入れるにしても、道中であれだけきれいな姿で乗っているのはすごいと思います。あとは位置取り。赤岡さんが強い馬に乗ると、勝てるポジションを楽に取って、危なげなく勝ちますよね。そういうところを学びたいと思っています。

高知の面白い話

風間恒一さん(中島高級競馬號)

取材・文●浅野靖典



高知競馬は1985年に市街地から現在の場所に移って発展したが、2000年代になると発売成績が急降下。それに伴って賞金などが極限まで下がった。しかしここ数年はV字回復をはるかに超える状況に。その様子を間近で見てきた専門紙「中島高級競馬號」の風間恒一さんに話を伺った。

憧れだった競馬関係の仕事に

高知競馬で仕事をするようになったのは1998年。だから僕は第1回の黒船賞を見ていないんです。『私的な名馬録』はエプソムアーロンにしましたが、それ以外にもクラシャイニーとかマウンテンダイヤとか、まだまだたくさん出てきますね。

高知の大学を出て、競馬関連の仕事をしたと思っていたんですが、ツテが全くなかったんです。関西で活動すればなんとかなるかなと思っていましたが、なかなか自分の力だけではうまくいきませんでした。

それでもなんとかと思って聞いたところのひとつが高知競馬の専門紙。友人に送ってもらった新聞に印刷されていた発行元に履歴書を送りました。もちろん、社員募集などという文字はどこにも書かれていませんよ。それでも返事をいただけて、福ちゃん社員が増えたばかりとのことでしたが、中島高級競馬號は面接してもらえました。

私が高知のトラックマンになったころは競馬場がとても賑やか。売店に買い物に行くとき、人がたくさんいてまっすぐに歩けなかったですからね。それがいつの間にか人の姿が少なくなりました。何が原因でそうなったのか、本当によくわからないというのが実際のところですよ。

そうなる競馬の開催も厳しくなりましたが、専門紙も厳しかったですね。ウチは印刷業など競馬以外の業務もしていたことでなんとかなったという感じです。それで



写真●高知県競馬組合

クラシャイニーが制した16年黒潮マイルCS

もトラックマンは減って、2人態勢に。今でも実況の橋口浩二さんと「あの頃はちょっと何か違っていたら、高知競馬は無くなってたよね」という話をします。

ただ個人的には「ギリギリまで頑張ってもダメでした、となるくらいなら、いっそ見切りをつけてもらったほうが……」という考えが浮かぶこともありました。でも競馬場としては、そこまで悲観的な空気にはなっていなかったような気がしますね。改めて、みんな遅しかったと思います。

だからこそ、頑張った人たちに裏切るわけにはいかないですよ。その頃はベテランの騎手たちが「何かあったらおしまいだから、悪いことをしたらいかん」と若い人達を律していました。そういう緊張感といいますか、そのあたりは引き継がれてほしいところです。

再興の一手、一発逆転ファイナルレース

しかしながら、その頃の状況を知っている身からすると「まさかこんな時代がやってくるなんて」という感じですよ。私がトラックマンになった数年後なんて「来年どうなる？」みたいな状況だったのに。振り返ると、幸運が重なった面はあると思います。橋口さんの発見がきっかけで大ブームになったハルウララ(2004年に引退)、そしてナイターを始めた(2009年)こともタイミングとして本当によかったと思います。

そのなかのひとつに入れたいのが『一発逆転ファイナルレース』(2008年6月20日に開始)ですね。まさに逆転の発想なんです。専門紙の記者が出走馬を選ぶという形も画期的でした。

その頃は1着賞金が9万円。当時の高知の下級条件は、失礼ながら本当に走らない馬ばかり。それを逆手に取って、成績が悪い馬だけが出られるレースを作ることになったのですが、出走馬に選ばされると「勝つチャンスだ」と気合が入る陣営が出てきたんですよ。逆に選ばれなかった馬の調教師さんに文句を言われたこともありました。

でも選ぶほうは苦労しているんです。成績的に「次はファイナルかな」と考えていた馬が移籍してしまうことも増えて、以前より補欠で準備しておく馬の数が増えました。昔は3年くらい最下級にいて「ファイナルの常連」みたいな馬もいたんですが、

今は入れ替わりが激しくなりました。でも最終レースはフルゲートにしたいので、頑張って作業しています。

その一方で、競馬場の空気としては1着9万円の頃のほうがギラギラしていた気がします。少ない馬資源をやりくりして「なんとかしてやろう」という気概みたいなものが感じられましたね。そういう意識があったからこそ、南部杯3着のグランシュヴァリエなど、遠征で活躍した馬が出たことにつながったんでしょう。現在はというと、賞金が上がったことが影響しているのか、騎手の選択がドライになってきたかな。そこはちょっと寂しいところです。

馬場読みが難しい近年の高知競馬

高知の馬場も昔と比べると違いがありますね。以前はインコースを通ると本当に厳しくて、わりと分かりやすい馬場でした。でも今は1日のなかでも傾向が変わりますし、インコースが使える日も出てきました。逆に外が全くダメな日もあって、馬場読みが難しくなったのは確かです。

だから私たちも厳しくて、専門紙はレースの3日前に予想するんですが、当日の馬場の傾向が前提と違うと切なくなるんですよ。天気予報が外れて馬場が変わるのは仕方ないと思います。でも当日の前半で「あれ？」となると……。レース当日にならないと馬場の状況が分からない競馬場って、高知くらいじゃないでしょうか。

だから「この日は何が良いのか」を最初に考えてから臨むほうがいいですね。これは感覚ですが、ファイナルレースの馬券を買う人は、そこまで考えている人の割合って低いのではないかなと思うんです。実際に「なんでこの馬が人気になるの？」ということがよくありますからね。だから皆さんが高知競馬を楽しむときには、できれば1日を通して見てもらえたら。そうすると後半戦では「これがこうなって、こういう形になる」というように、論理立てて予想できるレースが増えると思います。

1日を通してでは、第1レースの前のジョッキーブートークも高知ならでは。あれを始められたのも『落ちるところまで落ちた』から。できることはなんでもやろうという気持ちですね。当初はトラックマンだけが出演していましたが、徐々に騎手が来てくれるようになって、今ではみんな話慣れましたね。それを含めて橋口アナウンサーの功績は大きいと感じます。

高知競馬を楽しんでくださるかたが全国的に増えたことで、高知競馬を研究しているかたも増えていることと思います。それでもファイナルの3連単は高配当になることがほとんど。僕たちも会議で出走馬が決まると「これは当たらんあ」というのが締め言葉になっています(笑)。

1月→3月
注目レース
高知競馬
データ分析

年明けの高知競馬は、当地唯一のダートグレードである黒船賞JpnⅢがメインで、選

実施日	レース名(条件)	距離	23年の勝ち馬(所属)
1/14(日)	大高坂賞(4歳以上)	1400m	モダスオペランディ(高知)
1/28(日)	黒潮スプリンターズカップ(4歳以上)	1300m	イグナイター(兵庫)
2/11(日)	だるま夕日賞(4歳以上)	1600m	ガルボマンボ(高知)
2/25(日)	レジーナディンヴェルノ賞(4歳以上牝)	1900m	新設
3/3(日)	御厨人窟賞(4歳以上)	1400m	モダスオペランディ(高知)
3/10(日)	土佐春花賞(3歳)	1300m	ユメノホノオ(高知)
3/26(火)	黒船賞JpnⅢ(4歳以上)	1400m	シャマル(JRA)

考競走は大高坂賞、黒潮スプリンターズカップ(地方全国交流)、だるま夕日賞の3レース実施。3歳は2つの準重賞を経て土佐春花賞から重賞戦線がスタートする。2月25日のレジーナディンヴェルノ賞は、4歳

以上牝馬による新設重賞で地方全国交流での争い。ここでは過去10回の黒船賞JpnⅢから傾向を探るとともに、第1回レジーナディンヴェルノ賞の見どころや高知の牝馬路線について解説していく。

3/26 黒船賞

●近3年は地方馬も健闘

◇JRAが8勝、2着10回と断然。地方では兵庫が2勝、3着2回だが、馬券絡みはすべて新子雅司厩舎だ。なお過去3回の3着内馬の数では、JRA5頭に対し、地方が4頭と意地を見せている。リピーターの好走がみられるが、初回の着順を2回目以降で上回っての馬券絡みはない(14年以降に初出走の馬)。近年では、2022年1着イグナイター(兵庫)が23年3着、17年2着キングズガード(JRA)は18年

も2着で、19年は3着だった。
◇基本的には上位人気馬優勢。しかし1番人気は3勝、2着3回と勝ち切れていない。フェブラリーステークスGIひと桁着順から参戦してくる馬が人気になりやすいが、好成績なのは根岸ステークスGⅢ出走馬や前年の兵庫ゴールドトロフィーJpnⅢの2~5着馬。過去3回の勝ち馬では、2021年ティエムサウスダン(JRA)が根岸ステークスGⅢ・13着、22年イグナイター(兵庫)、23年シャマル(JRA)が兵庫ゴールドトロフィーJpnⅢで各3、2着だった。なお兵庫ゴールドトロフィー

JpnⅢの1着馬は6頭出走し、馬券絡みは14年2着ドリームバレンチノ(JRA)のみと狙いにくい。
◇勝利があるのは4~8歳で、4歳が3勝、5歳が4勝と優秀。JRAに限れば4歳と5歳合わせ【6-4-0-3】で3着内率76.9%。負担重量と所属の組み合わせでは、56kgのJRAが【3-6-2-3】で78.6%。その3着内馬11頭中9頭にはダートグレードか地方出走経験があり、馬券圏外の3頭にはその両方がなかった。なお22年1着イグナイターは地方所属だが、4歳・56kgで、ダートグレード出走歴もあった。

	枠番	馬番	馬名(所属)	性齢	重量	騎手	調教師	タイム・着差	人気	通過	前走	2走前
23.3.14 高知1400m 晴・不良 12頭	4	4	シャマル(JRA)	牡5	57	川田将	松下武	1.28.3	1	5-5-4-2	兵庫ゴールドT JpnⅢ②	チャンピオンズC GI⑤
	8	11	ヘリオス(JRA)	セン7	56	武豊	西園正	3	4	2-2-2-3	フェブラリーS GI⑦	根岸S GⅢ⑤
	7	9	イグナイター(兵庫)	牡5	57	田中学	新子雅	3/4	2	4-4-5-5	黒潮スプリンターズC①	兵庫ゴールドT JpnⅢ⑤
22.3.16 高知1400m 晴・良 11頭	3	3	イグナイター(兵庫)	牡4	56	田中学	新子雅	1.30.3	3	4-4-3-1	黒潮スプリンターズC①	兵庫ゴールドT JpnⅢ③
	8	11	ヘリオス(JRA)	セン6	56	武豊	寺島良	1	2	2-2-2-2	根岸S GⅢ②	J東京・霜月S①
	1	1	ダノングッド(高知)	牡10	56	多田誠	別府真	クビ	6	5-5-5-4	だるま夕日賞①	黒潮スプリンターズC③
21.3.16 高知1400m 曇・重 12頭	8	11	ティエムサウスダン(JRA)	牡4	56	岩田康	飯田雄	1.27.6	2	2-2-2-1	根岸S GⅢ③	J中京・すばるS①
	6	7	スリーブランド(JRA)	牡4	56	福永祐	高橋忠	8	1	8-8-5-4	J東京・バレンタインS①	J中京・すばるS⑤
	6	8	モジアナフレイバー(大井)	牡6	56	繁田健	福永敏	1	4	4-4-4-3	東京大賞典 GI⑨	勝島王冠③

2/25 レジーナディンヴェルノ賞

●24年ぶりの牝馬重賞

かつて高知競馬には牝馬の在籍頭数が少なく、古馬重賞での勝利もほとんどなかった。しかし2011年に牝馬の特別戦が4レース新設(13年から準重賞)されると、プラネットワールドが同年7月のヴェガ特別、建依別賞と連勝。18年に高知県知事賞など重賞を3勝したティアアップリパティ、19年の3歳二冠馬ナンヨーオボロツキなど実

力ある牝馬の転入も増えてきた。さらには2歳新馬戦が復活した15年のデビュー馬からは、ディアママルコが兵庫サマークイーン賞を16~18年に3連覇。NARグランプリ2018の4歳以上最優秀牝馬に選ばれるなど、生え抜きの牝馬から全国区の活躍馬も出るようになった。
高知ではかつてサラ系の牝馬限定重賞は、1997~2000年に黒潮乙女賞が行われていたが、レジーナディンヴェルノ賞はそれ以来となる牝馬重賞。条件は別表のとおりだ

が、例えばグランダム・ジャパン古馬シーズン(23年時点)の地方限定重賞では定量55kgというレースも多いが、当地の4歳以上・A級牝馬は準重賞で今回の56kgを経験できるのは有利に働くはず。高知1900mは重賞・準重賞のみの設定で、二十四万石賞、珊瑚冠賞といった牡馬相手の重賞で善戦している馬がいれば注目。1着賞金が800万円と高額なことから南関東からの参戦も見込め、地の利ある地元馬との対決が見どころになりそうだ。

高知競馬の3歳(4歳)以上牝馬路線(2023年度)



高知競馬場

サイヤーランキング

2021年11月6日～2023年11月5日

取得賞金ランキング

勝利数ランキング

■総合(2385レース)

種牡馬名	取得賞金(千円)	1着	出走回数	出走頭数	活躍馬(取得賞金順)
ヘニーヒューズ	168,725	77	422	39	アメージングラン
シニスターミニスター	124,035	68	432	30	グランデラムジ
ロードカナロア	111,865	77	486	41	カバジェーロ
ガルボ	104,650	15	87	5	ガルボマンボ
エスポワールシチー	104,435	33	301	24	イグナイター

種牡馬名	1着	2着	出走回数	出走頭数	勝馬頭数	活躍馬(勝利回数順)
ロードカナロア	77	58	486	41	27	ジュヴゼーム
ヘニーヒューズ	77	57	422	39	24	サノハニー
シニスターミニスター	68	47	432	30	21	マイネルボードレス
オルフェーヴル	55	47	399	34	21	トラストドーベル
キンシャサノキセキ	48	59	406	32	22	ペネトラール

■800m(50レース)

種牡馬名	取得賞金(千円)	1着	出走回数	出走頭数	活躍馬(取得賞金順)
ディスクリートキャット	6,690	3	5	4	パウンティキャット
マジステックウオリアー	5,775	2	6	5	ワンウオリアー
モーニン	5,280	2	4	3	テイクノート

種牡馬名	1着	2着	出走回数	出走頭数	勝馬頭数	活躍馬(勝利回数順)
コパノリッキー	3	1	6	6	3	トライコーン
ディスクリートキャット	3	1	5	4	2	パウンティキャット
パドトロワ	3	0	4	2	2	ハチシムスメ

■1300m(829レース)

種牡馬名	取得賞金(千円)	1着	出走回数	出走頭数	活躍馬(取得賞金順)
ヘニーヒューズ	33,125	18	115	31	サノハニー
エスポワールシチー	31,635	10	99	20	イグナイター
ロードカナロア	30,395	28	162	36	ジュヴゼーム

種牡馬名	1着	2着	出走回数	出走頭数	勝馬頭数	活躍馬(勝利回数順)
ロードカナロア	28	20	162	36	16	ジュヴゼーム
シニスターミニスター	27	15	132	28	17	コスタアレグレ
キンシャサノキセキ	19	21	120	28	14	シアライン

■1400m(1157レース)

種牡馬名	取得賞金(千円)	1着	出走回数	出走頭数	活躍馬(取得賞金順)
ヘニーヒューズ	99,465	47	232	33	アメージングラン
エスポワールシチー	59,395	19	161	21	イグナイター
オルフェーヴル	59,145	32	224	30	ヘリオス

種牡馬名	1着	2着	出走回数	出走頭数	勝馬頭数	活躍馬(勝利回数順)
ヘニーヒューズ	47	31	232	33	21	アメージングラン
ロードカナロア	38	27	238	38	22	ジュヴゼーム
オルフェーヴル	32	30	224	30	13	テンチシンメイ

■1600m(327レース)

種牡馬名	取得賞金(千円)	1着	出走回数	出走頭数	活躍馬(取得賞金順)
ガルボ	36,275	5	15	4	ガルボマンボ
ゴールドアリュール	28,635	6	30	12	ララメダイコードル
シニスターミニスター	28,285	14	78	19	グランデラムジ

種牡馬名	1着	2着	出走回数	出走頭数	勝馬頭数	活躍馬(勝利回数順)
シニスターミニスター	14	5	78	19	9	マイネルボードレス
ヘニーヒューズ	12	7	67	21	9	アメージングラン
ロードカナロア	11	10	76	26	8	ケブラー

■1800m(8レース)+1900m(12レース)+2400m(2レース)

種牡馬名	取得賞金(千円)	1着	出走回数	出走頭数	活躍馬(取得賞金順)
ガルボ	55,400	4	6	1	ガルボマンボ
バトルプラン	28,000	3	7	3	ユメノホノオ
トビーズコーナー	21,500	1	5	2	グリードバルフェ

種牡馬名	1着	2着	出走回数	出走頭数	勝馬頭数	活躍馬(勝利回数順)
ガルボ	4	1	6	1	1	ガルボマンボ
バトルプラン	3	0	7	3	1	ユメノホノオ
プリサイスエンド	2	2	5	3	2	ヴェレノ

重賞勝ち馬の血統を読む

文●平出貴昭(サラブレッド血統センター)

土佐秋月賞

ユメノホノオ

2020年4月27日生まれ 牡 栗毛 高知・田中守厩舎
生産・榎本牧場(沙流郡日高町)

バトルプラン(USA) 鹿毛2005	エンパイアメーカー(USA) 黒鹿毛2000	Unbridled(USA) Toussaud(USA)
	Flanders(USA) 栗毛1992	Seeking the Gold(USA) Starlet Storm(USA)
テレフトグラフ 栗毛2009	ハーツクライ 鹿毛2001	サンデーサイレンス(USA) アイリッシュダンス
	フライバイペガサス 芦毛2002	Fusaichi Pegasus(USA) マックスジーン(USA)

高知3歳三冠のみならず、3歳重賞5レース完全制覇という快挙を成し遂げ、高知競馬史上に残る名馬となったユメノホノオ。今回はこの馬の血統を深掘りしてみよう。

父バトルプランは米GIIニューオーリンズH(ダート9F)の勝ち馬。GI勝ちはなく、脚部不安のため6戦4勝で引退したが、同レースではGI馬ジェネラルクウォーターズを破り、米GIスティーンフォスターHでは後に名牝ゼニヤッタに唯一の黒星をつけるブレイムの2着に入るなど、GI級の實力の持ち主だった。

GI未勝利ながら種牡馬入りしたのはその血統の素晴らしさ故だろう。父エンパイアメーカーは米GIベルモントS勝ち馬で、

2012年の北米リーディングサイアー。直系の孫に米三冠馬アメリカンファラオがいて、日本では中山記念のフェデラリストなど3頭のJRA重賞勝ち馬、兵庫チャンピオンシップのタガノディグオなど3頭の地方ダートグレード競走勝ち馬、さらに報知グランプリCなど地方重賞19勝のエンパイアペガサスなどを出している。近年は日本でも人気の父系となっており、アメリカンファラオの後継種牡馬はカフェファラオなど3頭が供用されている。

バトルプランは牝系も優秀だ。姉サーフサイドはサンタアニタオークスなどGI・4勝の米3歳牝馬チャンピオンで、母フランダースも米GI・BCジュヴェナイルフィリーズを勝った米2歳牝馬チャンピオン。牝系を遡ると欧州2歳GIを3勝したエアフォースブルーなど多くの活躍馬が出ている。

バトルプランの産駒は東京スポーツ杯2歳Sなど重賞2勝のプレスジャーニー、アイピスマーダッシュのライオンボスとJRA芝重賞勝ち馬が2頭いるほか、地方でも大井記念など重賞4勝のモジアナフレイバー、東海ダービーなど重賞6勝のエムエスクイーンなど、ユメノホノオを含め11頭の重賞勝ち馬を出している。なお、モジアナフレイバーは産駒初の後継種牡馬として



高知の3歳重賞全制覇となったユメノホノオ

2023年から新冠・白馬牧場で供用中。バトルプラン自身は2021年を最後に種牡馬を引退しており、18歳となった現在は日高町のMTHケイムズで余生を送っている。2022年産馬がラストクロップで、11頭が血統登録されている。

ユメノホノオの牝系を見ると、母テレフトグラフは福山と北海道で13勝、姉グレイテストクルー(父パイロ)は兵庫で8勝、兄ヤマショウリアン(父シンボリクリスエス)は北海道と岩手で5勝と、母や姉兄は地方競馬で走った馬だが、曾祖母マックスジーンは米GIIシープスヘッドバイH(芝11F)など米国の芝重賞を6勝。同馬は日本で繁殖生活を送り、孫に東京プリンセス賞のアンジュジョリーを出している。さらに遡ると六代母ソリテュードは仏2歳牝馬チャンピオンで仏1000ギニーも勝つなど、筋の通った牝系だ。母系にはハーツクライ、フサイチペガサス、コジーンと名種牡馬の血が並ぶなど血統レベルも高く、今後は全国レベルへの飛躍も期待できそうだ。

DIRT GRADE DATA 作戦

第50回 ブルーバードカップ Jpn III 1月17日(水) 船橋1800m 3歳 1着賞金2000万円 フルゲート14頭 ※前回までは地方馬限定 準重賞

22.4.12 船橋 1700m 晴・良	7	⑦	ロマンスグレー(船橋)	牡3	57	左海誠二	1.51.9	1	人気
	4	④	ランディスシティ(大井)	牡3	57	笹川 翼	6	2	
	2	②	フレッシュグリーン(川崎)	牡3	57	矢野貴之	1 1/2	9	

単勝⑦180円 枠連複(4-7)170円 馬連複(4-7)170円 枠連単(7-4)320円
馬連単(7-4)320円 3連複(2-4-7)2,950円 3連単(7-4-2)7,460円

第70回 クイーン賞 Jpn III 2月7日(水) 船橋1800m 4歳以上牝馬 1着賞金3000万円 フルゲート14頭



写真 ● 斎藤 修

23.11.29 船橋 1800m 晴・良	1	①	ライオットガール(JRA)	牝3	54	岩田望来	1.51.1	3	人気
	8	⑧	テリオスベル(JRA)	牝6	56.5	江田照男	2 1/2	1	
	9	⑨	パライバトルマリン(JRA)	牝3	53	戸崎圭太	3/4	2	

単勝①300円 枠連複(1-8)300円 馬連複(1-11)330円 枠連単(1-8)610円
馬連単(1-11)660円 3連複(1-3-11)190円 3連単(1-11-3)1,230円

22.11.30 船橋 1800m 曇・稍重	1	①	テリオスベル(JRA)	牝5	55	江田照男	1.54.4	3	人気
	1	①	グランブリッジ(JRA)	牝3	54	福永祐一	2	2	
	5	⑤	ショウナンナデシコ(JRA)	牝5	57.5	吉田隼人	7	1	

単勝①510円 枠連複(1-8)410円 馬連複(1-14)450円 枠連単(8-1)1,480円
馬連単(14-1)1,290円 3連複(1-7-14)180円 3連単(14-1-7)2,130円

21.12.1 船橋 1800m 晴・不良	5	⑦	ダイアナブライツ(川崎)	牝5	53	笹川 翼	1.51.4	6	人気
	3	④	サルサディオオーネ(大井)	牝7	56.5	矢野貴之	クビ	1	
	8	⑧	プリティーチャンス(JRA)	牝4	54	岩田望来	5	3	

単勝⑦2,000円 枠連複(3-5)3,110円 馬連複(4-7)3,140円 枠連単(5-3)10,110円
馬連単(7-4)10,460円 3連複(4-7-13)4,230円 3連単(7-4-13)58,060円

20.12.3 船橋 1800m 曇・稍重	6	⑨	サルサディオオーネ(大井)	牝6	55	矢野貴之	1.51.4	3	人気
	5	⑤	アクションブッテル(JRA)	牝4	54	藤岡佑介	2 1/2	1	
	5	⑦	サルサレリア(川崎)	牝4	51	西 啓太	8	7	

単勝⑨350円 枠連複(5-6)820円 馬連複(8-9)620円 枠連単(6-5)1,510円
馬連単(9-8)1,360円 3連複(7-8-9)11,850円 3連単(9-8-7)43,810円

19.12.11 船橋 1800m 曇・稍重	1	①	クレイジーアクセル(大井)	牝4	52	吉原寛人	1.53.6	4	人気
	7	⑦	プリンシアコメータ(JRA)	牝6	56	岩田康誠	2 1/2	3	
	6	⑥	ラインカーナ(JRA)	牝3	54	武藤 雅	1/2	2	

単勝①780円 枠連複(1-7)1,730円 馬連複(1-10)1,980円 枠連単(1-7)3,180円
馬連単(1-10)4,780円 3連複(1-7-10)1,580円 3連単(1-10-7)16,750円

●エンプレス杯のステップ
ダート競走の体系整備の一環として、古馬牝馬路線にも大きな変更があった。エンプレス杯(Jpn II・川崎2100m)が、格付こそ変わらないが上半期最大目標の一戦と位置付けられ、グレード別定から定量へ、そして施行時期が3月上旬から5月上旬に変更となった。それに伴い、12月上旬に行われていたクイーン賞は今回から年明けに移動し2024年は2月7日に実施。条件は3歳以上から4歳以上に変更されている。また、TCK女王盃は兵庫女王盃(Jpn III)と名称変更し、4月上旬に園田1870mで実施。下半期は引き続き、JBCレディスクラシック Jpn Iが大目標だ。
クイーン賞から約3カ月後にエンプレス杯が行われるということで、ローテーション的には絶好のステップレースとなりそうだ。問題は引き続きハンデ戦ということ。すでに実績十分の馬にとっては、頑張って勝ちに行きづらいかもれない。かつてはJRAの強豪馬が勝っていた時代があったが、近年は様変わりしている。19年はクレイジーアクセル(大井)、20年はサルサディオオーネ(大井)、21年はダイアナブライツ(川崎)と南関東馬が勝利している。JBCレディスクラシックで掲示板に入れる力があれば、中央・地方を問わず勝機があるだろう。

第51回 佐賀記念 Jpn III 2月12日(振・月) 佐賀2000m 4歳以上 1着賞金3000万円 フルゲート12頭



写真 ● 佐賀県競馬組合

23.2.9 佐賀 2000m 曇・稍重	2	②	パーデンヴァイラー(JRA)	牡5	57	福永祐一	2.09.9	2	人気
	5	⑤	デルマルーヴル(JRA)	牡7	58	松岡正海	1	6	
	6	⑥	カフジオクtagon(JRA)	牡4	56	坂井瑠星	クビ	1	

単勝②250円 枠連複(2-5)840円 馬連複(2-5)2,360円
馬連単(2-5)2,830円 3連複(2-5-8)1,260円 3連単(2-5-8)8,210円

22.2.8 佐賀 2000m 晴・良	6	⑥	ケイアイパープル(JRA)	牝6	56	藤岡康太	2.06.6	2	人気
	2	②	アメリカンフェイス(JRA)	牡5	56	丹内祐次	5	5	
	8	⑧	メイショウカズサ(JRA)	牡5	58	川田将雅	3	1	

単勝⑥230円 枠連複(2-6)970円 馬連複(2-6)820円
馬連単(6-2)1,230円 3連複(2-6-11)300円 3連単(6-2-11)3,020円

21.2.11 佐賀 2000m 晴・良	1	①	クリンチャー(JRA)	牡7	58	川田将雅	R 2.05.0	1	人気
	8	⑧	アシャカトブ(JRA)	牡5	56	武藤 雅	9	3	
	8	⑧	ハナズレジェン(JRA)	牡8	56	坂井瑠星	クビ	5	

単勝①170円 枠連複(1-8)350円 馬連複(1-11)460円
馬連単(1-11)710円 3連複(1-11-12)1,650円 3連単(1-11-12)3,930円

20.2.11 佐賀 2000m 曇・良	7	⑩	ナムラカメタロー(JRA)	牡4	55	石川裕紀人	2.06.7	2	人気
	3	③	ロードゴラッソ(JRA)	牡5	57	川田将雅	1/2	1	
	6	⑥	ノーヴァレンダ(JRA)	牡4	55	A.シュタルケ	3	5	

単勝⑩320円 枠連複(3-7)290円 馬連複(3-10)330円
馬連単(10-3)670円 3連複(3-8-10)610円 3連単(10-3-8)2,840円

19.2.11 佐賀 2000m 曇・重	6	⑦	ヒラボクラーシュ(JRA)	牡4	55	山本聡哉	2.05.7	3	人気
	2	②	リーゼントロック(JRA)	牡8	56	松岡正海	クビ	5	
	1	①	テーオーエナジー(JRA)	牡4	57	岩田康誠	8	1	

単勝⑦560円 枠連複(2-6)5,770円 馬連複(2-7)5,450円
馬連単(7-2)8,200円 3連複(1-2-7)1,000円 3連単(7-2-1)16,740円

●1番人気の3着内率は100%
過去5年で3着以内に入った15頭はすべてJRA馬。基本的に上位人気馬で決まりやすく、大きな波乱は見込みづらい。1番人気1勝、2着1回、3着3回と3着内率100%である点も特徴だ。ただ、連対を外しているケースの方が多いともいえる。信頼はできるものの、馬券の組み立ては工夫が必要となるだろう。
中京ダート1800mで強い相手と戦っている馬が強く、前走はチャンピオンズカップ組が最も有力。基本的に好着順の馬は出走してこないだけに、敗れている馬をどう拾い上げるかが重要なポイントになる。周りの相手との着差、実際のレース内容を吟味したい。メンバー次第では東京大賞典や川崎記念の好走馬が中心になることもある。
前走1着の好調馬も有力。師走ステークスやポルックスステークスといった、施行時期が近いオープン特別を勝ち、勢いに乗っている馬はマークしておきたい。ちなみに2023年6番人気2着のデルマルーヴルは2走前の師走ステークスで勝ち馬とコママ4秒差の4着と善戦。19年に名古屋グランプリを制したことがあった実績馬ながら、しばらく不振が続いていたが、復調の兆しが見えていたのだ。

LOTO 高額配当ランキング Odds Park 2023年9月1日～2023年11月30日

【五重勝単勝式】

第1位	10,363,360円(1口)	10/29 佐賀
第2位	3,990,330円(5口)	11/30 園田
第3位	2,874,060円(1口)	11/28 水沢

【七重勝単勝式】

第1位	20,957,090円(1口)	10/15 帯広
-----	-----------------	----------

読者プレゼント



①林謙佑騎手 直筆サイン色紙…2名様
提供：林謙佑騎手

②オッズパーク 特製ボールペン…10名様
提供：オッズ・パーク株式会社

ご希望の方は官製はがきに、①ご希望のプレゼント名、②住所・氏名、③年齢、④本誌に対するご意見・感想、⑤Odds Parkを利用してのご感想、⑥Odds Parkへのご意見・要望、⑦電話番号を明記の上、下記まで。締切は1月22日(月)の消印有効。当選者の発表は景品の発送をもって代えさせていただきます。なお、個人情報については景品の発送以外の目的では使用いたしません。〒901-0298 沖縄県豊見城市豊崎 オッズパークサポートセンター OPCプレゼント係

**第26回
かきつばた記念
JpnⅢ
2月29日(木)
名古屋1500m
4歳以上
1着賞金2800万円
フルゲート12頭**



写真●愛知県競馬組合

23.5.2 名古屋 1500m 晴・良	6⑧ ウィルソンテソーロ(JRA) 牡4 56 川田将雅 R 1.31.1 2人 6⑫ ドライスタウト(JRA) 牡4 58.5 戸崎圭太 ハナ 1 6⑦ ヘリオス(JRA) セン7 58.5 武 豊 3 3	単勝⑧ 300円 枠連複(6-8)130円 馬連複(8-12)240円 馬連単(8-12)650円 3連複(7-8-12)200円 3連単(8-12-7)1,190円
22.5.3 名古屋 1500m 晴・稍重	1① イグナイター(兵庫) 牡4 56 田中 学 1.31.8 2人 6⑫ ヘリオス(JRA) セン6 57.5 武 豊 1 1 6③ ラプタス(JRA) セン6 59 幸 英明 1/2 4	単勝① 480円 枠連複(1-8)460円 馬連複(1-12)530円 馬連単(1-12)1,000円 3連複(1-3-12)1,030円 3連単(1-12-3)3,930円
21.5.3 名古屋 1400m 晴・良	4④ ラプタス(JRA) セン5 58 幸 英明 1.25.2 2人 6⑪ テイエムサウスダン(JRA) 牡4 57.5 福永祐一 3 1 2② ベルターイメル(JRA) 牡4 55 吉田祐人 1 3	単勝④ 240円 枠連複(4-8)170円 馬連複(4-11)170円 馬連単(4-11)400円 3連複(2-4-11)290円 3連単(4-11-2)1,060円
20.5.4 名古屋 1400m 曇・良	6⑦ ラプタス(JRA) セン4 57 幸 英明 1.25.3 1人 6⑧ ノボカカラ(JRA) 牡8 56 岡部 誠 3 3 2② ドリームドルチェ(浦和) 牡8 55 大畑雅章 5 5	単勝⑦ 160円 枠連複(6-6)530円 馬連複(7-8)560円 馬連単(7-8)700円 3連複(2-7-8)1,130円 3連単(7-8-2)3,010円
19.5.1 名古屋 1400m 雨・不良	7⑩ ゴールドフイーン(JRA) 牝4 54 古川吉洋 1.25.1 2人 2② ヤマニンアンプリメ(JRA) 牝5 54 鮫島良太 2 1/2 1 6⑫ テーオーヘリオス(JRA) 牡7 57 濱中 俊 3 5	単勝⑩ 340円 枠連複(2-7)410円 馬連複(2-10)450円 馬連単(10-2)790円 3連複(2-10-12)1,640円 3連単(10-2-12)4,980円

●施行時期が繰り上がり別定戦
古馬短距離路線が整備される一環で、2024年から施行時期が5月初旬から約2カ月繰り上がり、なおかつ負担重量がハンデキャップからグレード別定に変更となった。施行時期の変更は、レース傾向を考える上で重要なポイントとなりそ。というも『同年の黒船賞連対馬が有力』という従来のセオリーが使えなくなるからだ。ハンデ戦から別定戦になる影響はどの程度になるか、現状ではわからない。ただ、基本的に地方のダートグレードは多少重い重量を背負わされても、地方で克服してくる印象が強いので、あまり変化はないと予想しておく。
一応、過去5年を振り返ると、19年はゴールドフイーン、20、21年はラプタスが逃げて4コーナーも先頭で通過し、そのまま押し切っていた。しかし、名古屋競馬場が弥富でリニューアルした後は、4コーナーで先頭の馬は連対できていない。22年はイグナイターが2番手から抜け出し、23年はウィルソンテソーロがドライスタウトとの競り合いの末、差し切って勝利。このあたりの変化は本競走が1400mから1500mに距離延長し、最後の直線距離が194mから240mに延びて、なおかつ3~4コーナーがスパイラルカーブになったことが影響していると考えられる。

**第69回
ダイオライト記念
JpnⅡ
3月6日(水)
船橋2400m
4歳以上
1着賞金4500万円
フルゲート14頭**



写真●NAR

23.3.15 船橋 2400m 晴・良	1① グロリアムンディ(JRA) 牡5 56 川田将雅 2.37.2 1人 2② テリオスベル(JRA) 牝6 54 江田勇 9 4 4⑤ メイショウフンジン(JRA) 牡5 56 酒井 学 1 3	単勝① 220円 枠連複(1-2)1,280円 馬連複(1-2)1,290円 枠連単(1-2)1,670円 馬連単(1-2)1,940円 3連複(1-2-5)1,090円 3連単(1-2-5)4,900円
22.3.23 船橋 2400m 曇・不良	7⑪ ノーヴァレンダ(川崎) 牡6 56 森 泰斗 2.37.2 5人 1① エブリワンブラック(JRA) 牡5 56 戸崎圭太 2 1/2 8 4⑥ ミューチャリー(船橋) 牡6 56 本橋孝太 1/2 3	単勝① 1,030円 枠連複(1-7)11,460円 馬連複(1-11)15,270円 枠連単(7-1)15,670円 馬連単(11-1)27,900円 3連複(1-6-11)21,890円 3連単(11-1-6)213,870円
21.3.17 船橋 2400m 晴・良	6⑩ ダノンアラオ(JRA) 牡4 55 川田将雅 2.34.5 2人 7⑦ エルデクラージュ(JRA) セン7 56 戸崎圭太 1 1/2 4 1① アナザートルース(JRA) セン7 56 森 泰斗 1 1/2 3	単勝⑩ 270円 枠連複(7-8)1,000円 馬連複(8-10)1,130円 枠連単(8-7)1,810円 馬連単(10-8)1,710円 3連複(1-8-10)930円 3連単(10-8-11)4,610円
20.3.11 船橋 2400m 晴・重	6⑫ アナザートルース(JRA) セン6 56 C.ルメール 2.36.6 1人 3③ ウェスターランド(JRA) セン8 56 川田将雅 2 2 6⑧ サウンドトゥル(船橋) セン10 56 森 泰斗 4 3	単勝⑫ 240円 枠連複(3-8)320円 馬連複(3-14)330円 枠連単(8-3)660円 馬連単(14-3)650円 3連複(3-8-14)410円 3連単(14-3-8)1,550円
19.3.13 船橋 2400m 曇・重	1① チュウウィザード(JRA) 牡4 55 川田将雅 2.37.3 1人 6⑨ アポロケンタッキー(JRA) 牡7 56 戸崎圭太 4 5 4⑥ オールブラッシュ(JRA) 牡7 56 田邊裕信 1/2 3	単勝① 140円 枠連複(1-6)840円 馬連複(1-9)770円 枠連単(1-6)1,140円 馬連単(1-9)1,150円 3連複(1-6-9)1,220円 3連単(1-9-6)4,030円

●川崎記念へつながる一戦
古馬中距離路線におけるローテーション整備の一環で、2024年から本競走の負担重量は定量からグレード別定に変更となる。これによりメンバー構成が少し変化し、すでに古馬のGI/JpnIを勝っている馬はやや出走しづらくなるのが予想される。また、川崎記念の施行時期が1月下旬から4月上旬に変わる影響で、本競走は川崎記念の前哨戦としての位置づけとなる。よって、従来は有力と目されていた前走川崎記念組というパターンがほぼ消滅する。
一応、過去5年の結果を振り返ると、3着内馬15頭中12頭はJRA馬。基本的にはJRAの実績馬が強いが、たまに地方の伏兵馬が絡んでくる。所属を問わず重要になるのは距離の実績・適性。ダートグレードの中で最長距離の一戦だけに、かなりスタミナが問われる。馬のタイプで言えば、決め手が鋭い差し・追い込みよりも、先行して長くいい脚を使える方が有利だ。22年1着ノーヴァレンダ(川崎)はダイワメジャー産駒だが、前走報知オールスターカップを含め、川崎2100mを連勝していた。血統面(キングカメハメハの系統に注目など)も重要だが、実際に2000mを超えるレースで実績があればまったく問題はない。

**第26回
黒船賞
JpnⅢ
3月26日(火)
高知1400m
4歳以上
1着賞金3000万円
フルゲート12頭**



写真●高知県競馬組合

23.3.14 高知 1400m 晴・不良	4④ シャマル(JRA) 牡5 57 川田将雅 1.28.3 1人 8⑧ ヘリオス(JRA) セン7 56 武 豊 3 4 7⑦ イグナイター(兵庫) 牡5 57 田中 学 3/4 2	単勝④ 260円 枠連複(4-8)610円 馬連複(4-11)630円 馬連単(4-11)1,010円 3連複(4-9-11)670円 3連単(4-11-9)3,440円
22.3.16 高知 1400m 晴・良	6③ イグナイター(兵庫) 牡4 56 田中 学 1.30.3 3人 6⑪ ヘリオス(JRA) セン6 56 武 豊 1 2 1① ダノンブッド(高知) 牡10 56 多田羅誠也 クビ 6	単勝③ 750円 枠連複(3-8)1,020円 馬連複(3-11)740円 馬連単(3-11)1,930円 3連複(1-3-11)3,400円 3連単(3-11-1)18,500円
21.3.16 高知 1400m 曇・重	8⑪ テイエムサウスダン(JRA) 牡4 56 岩田康誠 1.27.6 2人 6⑦ スリーブランド(JRA) 牡4 56 福永祐一 8 1 6⑧ モジアナフレイバー(大井) 牡6 56 繁田健一 1 4	単勝⑪ 350円 枠連複(6-8)290円 馬連複(7-11)460円 馬連単(11-7)970円 3連複(7-8-11)790円 3連単(11-7-8)3,430円
20.3.10 高知 1400m 曇・不良	4④ ラプタス(JRA) セン4 56 幸 英明 1.27.3 5人 2② テーオージーニアス(JRA) 牡5 56 岩田康誠 3 2 5⑤ サクセスエナジー(JRA) 牡6 58 松山弘平 1/2 4	単勝④ 570円 枠連複(2-4)1,130円 馬連複(2-4)1,090円 馬連単(4-2)2,000円 3連複(2-4-5)2,040円 3連単(4-2-5)8,990円
19.3.21 高知 1400m 曇・不良	3③ サクセスエナジー(JRA) 牡5 58 松山弘平 1.26.6 1人 1① ヤマニンアンプリメ(JRA) 牝5 54 鮫島良太 アタマ 3 5⑤ キングズガード(JRA) 牡8 57 藤岡佑介 5 4	単勝③ 170円 枠連複(1-3)370円 馬連複(1-3)380円 馬連単(3-1)550円 3連複(1-3-5)570円 3連単(3-1-5)1,670円

●1400mがベストの馬が勝ちやすいが……
過去5年の3着内馬15頭のうちJRA馬が11頭。馬券絡みしたJRA馬はすべて5番人気以内だが、地方馬も2022年3着ダノンブッド(高知)の6番人気を除けば4番人気以内だった。勝ち馬は1400mがベストというタイプが多い印象で、同距離のダートグレードで実績がある馬は有利。ただ、19年1着サクセスエナジーは20年が3着、22年1着イグナイター(兵庫)は23年が3着と、前年優勝馬が翌年に連対を外している。過去の実績や適性だけでは押し切れないレースでもある。
特に前走で大きく敗れている馬の取捨は重要。前走がフェブラリーステークスやJBC競走であれば、着順が悪くても心配する必要はない。20年3着サクセスエナジーはJBCスプリット11着、23年2着ヘリオスはフェブラリーステークス7着から巻き返した。GI/JpnIでなくても前走が東京ダートであれば、他のレースでも注意が必要。20年1着ラプタスはパレンタインステークス8着、21年1着テイムサウスダンは根岸ステークス13着だった。前走東京以外でも、1400mの重賞やオープン特別を使われた馬は有力。ただし、5着以内というのが目安で、19年2着ヤマニンアンプリメは太和大ステークス1着、23年1着シャマルは兵庫ゴールドトロフィーで2着だった。

開催日程

☆☆ ナイター開催時の投票開始時間 ☆☆☆
 名古屋、兵庫(園田)、高知…………… ナイター開催当日 10:00 ~
 ばんえい帯広、佐賀、ホッカイドウ、南関東…………… ナイター開催当日 12:00 ~

DG ダートグレード開催日 **重賞** 重賞開催日
 ●: デイ開催 ●: 薄暮取扱 ●: ナイター取扱

1月	1月	2火	3水	4木	5金	6土	7日	8月	9火	10水	11木	12金	13土	14日	15月	16火	17水	18木	19金	20土	21日	22月	23火	24水	25木	26金	27土	28日	29月	30火	31水	
ばんえい帯広		重賞	重賞	●			●	●	●				●	●	●					●	●	●					●	重賞	●			ばんえい
岩手盛岡/水沢																																岩手
金沢																																金沢
笠松									●	●	●	●										●	●	●	●	●					笠松	
名古屋	●	●	●	●	●										●	●	●	●	●	●									●	●	●	名古屋
兵庫園田/姫路		●	●	●					●	●	●	●			●	●	●						●	●	●	●			●	●	兵庫	
高知	●						●	●	●	●				●		●	●				●		●	●	●			●	●	●	高知	
佐賀				●	●	●	●	●					●							●	●					●	●	●	●		佐賀	
北海道・南関 DG																	船橋 DG														北海道・南関	

2月	1木	2金	3土	4日	5月	6火	7水	8木	9金	10土	11日	12月	13火	14水	15木	16金	17土	18日	19月	20火	21水	22木	23金	24土	25日	26月	27火	28水	29木		
ばんえい帯広			●	●	●					●	●						●	●	●					●	●	●					ばんえい
岩手盛岡/水沢																															岩手
金沢																															金沢
笠松					●	●	●	●	●											●	●	●	●	●						笠松	
名古屋	●	●										●	●	●	●											●	●	●	●	DG	名古屋
兵庫園田/姫路	●					●	●	●	●				●	●	●	●				●	●	●	●	●			●	●	●	兵庫	
高知			●		●	●	●			●	●	●		●				●		●	●				●	●	●	●		高知	
佐賀			●	●						●	●	DG					●	●				●	●							佐賀	
北海道・南関 DG							船橋 DG																							北海道・南関	

3月	1金	2土	3日	4月	5火	6水	7木	8金	9土	10日	11月	12火	13水	14木	15金	16土	17日	18月	19火	20水	21木	22金	23土	24日	25月	26火	27水	28木	29金	30土	31日	
ばんえい帯広		●	●	●					●	●	●				●	●	●														ばんえい	
岩手盛岡/水沢										水沢	水沢	水沢					水沢	水沢					水沢	水沢	水沢				水沢	水沢	水沢	岩手
金沢										●	●	●					●			●						●	●				金沢	
笠松				●	●	●	●												●		●	●	●							笠松		
名古屋	●											●	●	●	●											●	●	●	●	名古屋		
兵庫園田/姫路					●	●	●												●	●	●	●			●	●	●	●		兵庫		
高知			●		●	●			●	●	●						●		●	●	●				●	●	●	●		高知		
佐賀		●	●				●	●	●	●						●								●	●				●	佐賀		
北海道・南関 DG							船橋 DG																							北海道・南関		

※日程は変更となる場合がございますのでご注意ください。
 ※ホッカイドウ競馬、南関東地区で行われるダートグレード競走については、市中銀行会員のみの投票できます。

重賞&ダートグレード日程(2024年1月~3月)

1月	競馬場	実施日	競走名	競走条件	距離	備考
	帯広	2(火)	第46回 帯広記念	重賞	4歳以上	200
	帯広	3(水)	第17回 天馬賞	重賞	5歳	200
	園田	3(水)	第66回 新春賞	重賞	4歳以上	1,870
	名古屋	4(木)	第27回 名古屋記念	重賞	4歳以上	1,500
	佐賀	6(土)	第1回 佐賀若駒賞	重賞	3歳	1,750
	佐賀	8(祝・月)	第3回 ゴールドスプリント	重賞	4歳以上	1,300 地方全国交流
	園田	11(木)	第4回 コウノトリ賞	重賞	4歳以上牝馬	1,870
	高知	14(日)	第13回 大高坂賞	重賞	4歳以上	1,400
	名古屋	16(火)	第26回 新春ペガサスカップ	重賞	3歳	1,700
	船橋	17(水)	第50回 ブルーバードカップJpnⅢ	DG	3歳	1,800 中央・地方全国交流
	佐賀	21(日)	第65回 花吹雪賞	重賞	3歳牝馬	1,800 四国・九州地区交流
	笠松	25(木)	第41回 ウィンター争覇	重賞	4歳以上	1,800
	姫路	25(木)	第25回 兵庫クイーンセレクション	重賞	3歳牝馬	1,400 北陸・東海・近畿・四国・九州地区交流
	帯広	28(日)	第34回 ヒロインズカップ	重賞	4歳以上牝馬	200
	高知	28(日)	第21回 黒潮スプリンターズカップ	重賞	4歳以上	1,300 地方全国交流
2月	名古屋	1(木)	第25回 梅見月杯	重賞	4歳以上	1,500 地方全国交流
	帯広	4(日)	第4回 翔雲賞	重賞	3歳牡馬	200
	佐賀	4(日)	第20回 飛燕賞	重賞	3歳	1,400
	船橋	7(水)	第70回 クイーン賞JpnⅢ	DG	4歳以上牝馬	1,800 中央・地方全国交流
	笠松	8(木)	第48回 ゴールドジュニア	重賞	3歳	1,600 北陸・東海・近畿地区交流
	姫路	8(木)	第8回 兵庫ウィンターカップ	重賞	4歳以上	1,400 地方全国交流
	帯広	11(日)	第49回 黒ウリ賞	重賞	3歳牝馬	200
	高知	11(日)	第11回 だるま夕日賞	重賞	4歳以上	1,600
	佐賀	12(振・月)	第51回 佐賀記念JpnⅢ	DG	4歳以上	2,000 中央・地方全国交流
	名古屋	15(木)	第49回 スプリングカップ	重賞	3歳	1,700 北陸・東海・近畿・四国・九州地区交流
	姫路	15(木)	第53回 白鷺賞	重賞	4歳以上	2,000 北陸・東海・近畿・四国・九州地区交流
	帯広	18(日)	第45回 チャンピオンカップ	重賞	4歳以上、重賞競走優勝馬	200
	笠松	22(木)	第29回 白銀争覇	重賞	4歳以上	1,400 北陸・東海・近畿地区交流
	姫路	22(木)	第16回 兵庫ユースカップ	重賞	3歳	1,400 北陸・東海・近畿・四国・九州地区交流
	佐賀	22(木)	第28回 たんぽぽ賞(予定)	重賞	3歳九州産	1,400 中央1勝クラス以下・地方全国交流
	高知	25(日)	第1回 レジーナディンヴェルノ賞	重賞	4歳以上牝馬	1,900 地方全国交流
	名古屋	29(木)	第26回 かきつばた記念JpnⅢ	DG	4歳以上	1,500 中央・地方全国交流
3月	高知	3(日)	第12回 御厨人鹿賞	重賞	4歳以上	1,400
	笠松	5(火)	第1回 ブルーリボンマイル	重賞	4歳以上牝馬	1,600 地方全国交流
	船橋	6(水)	第69回 ダイオライト記念JpnⅡ	DG	4歳以上	2,400 中央・地方全国交流
	笠松	7(木)	第1回 ジュニアグローリー	重賞	3歳	1,400
	帯広	10(日)	第45回 ポブラ賞	重賞	4歳・5歳	200
	高知	10(日)	第12回 土佐春花賞	重賞	3歳	1,300
	佐賀	10(日)	第3回 九州クラウン	重賞	3歳以上	1,400
	名古屋	14(木)	第22回 若草賞土古記念	重賞	4歳以上牝馬	1,500 地方全国交流
	帯広	16(土)	第55回 イレネー記念	重賞	3歳	200
	帯広	17(日)	第56回 ばんえい記念	重賞	4歳以上	200
	笠松	20(祝・水)	第45回 マーチカップ	重賞	4歳以上	1,900 北陸・東海・近畿地区交流
	水沢	24(日)	第49回 あやめ賞	重賞	3歳牝馬	1,400
	佐賀	24(日)	第21回 はがくれ大賞典	重賞	3歳以上	2,000 地方全国交流
	高知	26(火)	第26回 黒船賞JpnⅢ	DG	4歳以上	1,400 中央・地方全国交流
	名古屋	28(木)	第1回 ネクストスター中日本	重賞	3歳	1,500 北陸・東海地区交流
	園田	28(木)	第1回 ネクストスター西日本	重賞	3歳	1,400 近畿・四国・九州地区交流
	水沢	31(日)	第30回 白嶺賞	重賞	4歳以上	1,400

※開催内容が変更となる場合がございますのでご注意ください。

昨年度優勝馬 シャマル
騎手 川田 将雅

全国のスプリンターが集結

砂の中

を駆け抜ける!

第26回 黒船賞

2024年3月26日(火) 4歳以上 1400m

キャンペーン開催決定!

詳細は 3月中旬オッズパークサイトにて公開!

●オッズパークで投票できる勝馬投票券

すべてのレースに投票できます

競馬場	場番号	最大出走頭数	単勝(単)	複勝(複)	連勝複式		連勝単式		三連勝		重勝式			投票方式				
					枠番 枠複	馬番		枠番 枠単	馬番 馬単	三連 複	三連 単	セレクト 5	セレクト 7	ランダム 7	電話投票 ARS	インターネット投票		
						普通 (馬複)	拡大 (ワイド)									オッズ パーク 投票	クラシック 投票	携帯 投票
ばんえい帯広	03	10	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
盛岡	11	16	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
水沢	12	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
金沢	41	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
笠松	42	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
名古屋	43	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
園田	51	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
姫路	52	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
高知	55	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
佐賀	61	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

※販売賭式は変更になる場合がございます。 ※重勝式は、インターネット投票(クラシック投票は除く)のみ投票できます。

ダートグレード競走のみ投票することができます(市中銀行会員のみ投票できます)

ホッカイドウ門別	場番号	最大出走頭数	単勝	複勝	連勝複式	連勝単式	三連勝	重勝式	電話投票	インターネット投票	携帯投票
浦和	31	12	●	●	●	●	●	●	●	●	●
船橋	32	14	●	●	●	●	●	●	●	●	●
大井	33	16	●	●	●	●	●	●	●	●	●
川崎	34	14	●	●	●	●	●	●	●	●	●

オッズパーク
サポートセンター

電話 0570-006889 (ナビダイヤル) / 03-6837-4500 FAX 098-851-0988

受付時間 10:00~21:00(ナイター非開催日は17:30まで) ※施設点検日およびメンテナンス日は休業

インターネット投票

パソコン
<https://www.oddsark.com/>
携帯
<http://m.oddsark.com/>
スマートフォン
<https://sp.oddsark.com/>

電話投票

0570-011100(ナビダイヤル)
03-6833-0111

※投票はどちらの投票用電話番号でもご利用になれます。

レース結果案内(全主催者共通)

0570-011555(ナビダイヤル)
03-6748-0100
03-6748-0101

※番号をよくご確認のうえ、お間違のないようお願いいたします。

※[0180][0570]で始まる電話番号は、一部の携帯電話・PHSからのご利用になれません。また、NTT以外の電話会社と契約されている場合はご利用いただけません。

※[0180]で始まる電話番号は(固定電話)音源所在地までの一般ダイヤル通話料(携帯電話)全国一律14秒10円(3分130円)がかかりますのでご注意ください。

※ナビダイヤル([0570]で始まる電話番号)の通常電話からの通話料金は、全国一律で一般電話からは1分10円、携帯電話からは20秒10円です。